


## B-1 指導上の工夫点詳細（校内通信より）

	金沢市立野町小学校 学習指導委員会 平成21年8月27日発行 NO. 20
---	--

### 6年「水溶液の性質とはたらき」

#### 「水溶液の性質とはたらき」

＝「粒子の結合」「粒子の保存性」を柱とした内容

- |   |            |
|---|------------|
| ア 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること。<br>イ 水溶液には、気体が溶けているものがあること。<br>ウ 水溶液には、金属を変化させるものがあること。 | （指導要領解説より） |
|---|------------|

### 導入の工夫

うすい塩酸にアルミニウム片を入れたときの事象から出てくる疑問を大切にし、学習問題をつくる

＜塩酸にアルミニウムを入れると どうなるか＞

- ・ アルミニウムはどこへ 行ったのか
- ・ 熱くなったのは なぜか
- ・ 出てきた泡は 何か

・・・などの学習問題ができるだろう

※ 疑問を学習問題にする場での、教師の交通整理が大切  
そのために、どのような観点でメモさせ、板書で位置付けていくことが必要

※ 教師の出場では、思い切って出ること（言葉の微調整、順番 等）

※ 子ども達に、話型をつかって意見をつなげていく力が必要

### 単元構成の工夫

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 水溶液の同定を第四次に入れ、既習を活かしていく場をつくる</li><li>・ 上記の学習問題を解決する中でウ（水溶液には金属を変化させるものがあること）をつかませる</li><li>・ &lt;塩酸以外にも金属を溶かす水溶液はあるか&gt;を調べる中で、炭酸水の泡に興味をいだかせ、イ（水溶液には、気体がとけているものがあること）をつかませる</li><li>・ モデル等におきかえて、イメージ図に表していく場を保障する</li></ul> |
|--|